

# cube

パーキングニュース・キューブ

April 2024

# 49



**特集** 自走式駐車場導入事例  
**医療法人徳洲会**  
**中部徳洲会病院様**

**IHI**  
PARKING NEWS

## 自走式駐車場導入事例

# 医療法人徳洲会 中部徳洲会病院様

沖縄県のほぼ真ん中、中城湾に面する中頭郡北中城(きたなかぐすく)村。

観光と米軍基地の商業地として発展したこの街に位置しているのが、

地域の中核病院である医療法人徳洲会 中部徳洲会病院様です。

同院は2024年1月に新たに自走式駐車場を竣工し

利用者である患者様の大幅な利便性向上を実現しました。

今号では同院の事務長・新垣力様に駐車場導入の経緯からこだわった点、

病院にとっての駐車場の役割・機能などについてお話を伺いました。

医療法人徳洲会様は現在77病院を擁する日本を代表する民間医療グループで、沖縄県には20カ所の医療拠点、沖縄本島には5つの中核病院を設けています。ご紹介する中部徳洲会病院様は沖縄中部地域の中核病院で、病床数は沖縄県下では民間最多の408床。救急医療にも注力しており救急の受け入れ件数は年間7200件を超えています。12階建の病棟には最新の医療設備が完備され、屋上にはヘリポートを設置しドクターヘリの受入れも行っています。



医療法人徳洲会 中部徳洲会病院  
自走式駐車場

- 所在地：沖縄県中頭郡北中城村字比嘉801番地
- 竣工：2024年1月31日
- パーキング概要：  
自走式駐車場・2層3段フラット式  
(1435台収容)

2016年に移転・新築した当時は病院西側の敷地を平置き駐車場として活用していました。しかし職員の増加や関連施設の建築などにより手狭になったため自走式駐車場(2層3段フラット式)の建設に着手し、2024年1月31日、1435台が駐車できる大型の自走式駐車場が竣工しました。



# 自走式の立体駐車場が完成したことで 地域・災害の医療拠点としての機能が整いました。

## 増え続ける駐車ニーズに対応し 立体駐車場の建設をスタート

沖縄県は鉄道インフラがないこともあって、車が県民の主要交通機関です。そのため、病院に限らずあらゆる施設は駐車場の確保が重要な課題となっています。

「当院も移転前から駐車場の確保は大きな経営テーマとなっていました。以前の病院の駐車場は収容台数が少なかったため、患者様の車を縦列に駐車し、その出し入れ作業に多くの総務スタッフが掛かりきりになっていました。また、2016年に移転・新築した際も立体駐車場を建設する計画がございました。ただ建設費の高騰などで実現できなかったのです。そこで、駐車場スペースはそのまま平置き駐車場として整備しました」（新垣様）

しかし、道路を挟んで隣接する平置き駐車場だけでは、地域の中核病院である中部徳洲会病院様の駐車ニーズを満たすことはできませんでした。外来患者様と職員の駐車スペースを確保する必要があります。また、現状の平置き駐車場だけでは駐車台数が足りないため、職員は遠方にある外部の駐車場を活用していました。また、

来院者も時間帯によっては満車で駐車することができないため、外部の駐車場に案内しなくてはならない状況が生まれました。こうした経緯から立体駐車場の建設を改めて計画し、2022年11月から建設工事をスタートさせました。



安全性と利便性の点から車路幅を6m近く確保し、交差・対面通行がない一方通行

## こだわったのは 駐車場2階フロアの多様な機能

駐車場の建設工事は、工事中も利用者様用の駐車場としての機能を維持する必要があります。そのため二期に分けて実施されました。まず東半分の敷地の工事を行い、この間は西半分をそのまま平置き駐車場として利用します。そして東半分完成後は西半分の駐車場を建設。一期工事は2022年11月から始まり2023年6月に完成、二期工事は2024年1月に竣工を迎えました。2層3段のフラット式駐車場で収容台数は1435台。来院される患者様用、1300名を超える職員用、いずれも十分なスペースを確保しています。

「こだわったのは、2階フロアを中心に整備することです。当院の受付は2階にあり、もともと連絡橋をかけて立体駐車場とつなげる計画となっており、来年3月までには橋が完成する予定です。そうなる土地上の道路を横断することなく、雨の日でも濡れずにそのまま受付にアクセス

できます。そこで、2階のエレベーター前のスペースを広く取り、車椅子の移動や送迎者などの利便性を図るとともに、障害者用の駐車スペースも数多く整備しました。また駐車場は車路が広く、対面ではなくすべて一方通行で移動できるなど、利用者にとって優しい設計になっています。こうした点はすべてIH I様をご提案してくれたもので、私たちとしてはとても満足しています」（新垣様）

新垣力様

自走式駐車場特設  
サイトはコチラ



## 地域災害拠点病院として 重要な機能を担う駐車場

駐車場完成後は多くのお客様から「すぐに停められて良かった」「本当に便利になった」などの感謝の言葉が寄せられました。実は一期工事の間は平置き駐車場の半分しか利用できなかったため、利用者様からの不満やクレームが頻発していたそうです。

「当時は本当に利用者様にご迷惑をおかけしました。駐車場が完成し、利用者様に喜んでいただけ本当に良かったと思っています。患者様満足も従業員満足もかなり向上したのではないのでしょうか」(新垣様)

新たな駐車場は病院の経営や機能の向上にも貢献しています。今までは駐車場の台数不足が原因で来院を控えていた患者様も多かったそうです。駐車場の完成で「車を駐車できない」という心配がなくなるため、外来患者数も増加すると思います。また同院は地域災害拠点病院として災害発生時には傷病者の受け入れや搬出など災害医療活動の中心的な役割を担います。そこで活用されるのが駐車場です。2階フロアを避難場所にするともに、負傷者をエレベーター前に収容し、そこでトリアージ(負傷度合いによる振分け)を行いながら病院へ搬送することを想定しています。

「この駐車場が完成したことで、当院がもつ地域の中核病院としての役割、そして災害拠点病院としての機能をしっかりと果たすことができるようになったと思っています」(新垣様)



2層3段のフラット式駐車場で、収容台数1435台  
地域災害拠点病院の機能として活用することも想定

## 当社営業担当からの視点

パーキングシステム事業部  
営業統括部 営業部  
関西・四国2グループ長(自走式担当)  
部長代理 濱中 修

### 目指したのは、誰もが安心して 病院にアクセスできる駐車場

今回の案件では、当社がご提案した設計プランの効率性や利便性、コストパフォーマンスなど総合力をご評価いただきました。私たちがこだわったのは、病気の方や高齢者の方も多く利用される病院なので、来院された方がストレスなく駐車できるゆとりある設計です。設定台数をクリアしながら、駐車スペースは車幅2500mmを確保し、車路も6m近い幅としました。



これでバック駐車などもスムーズに行えます。高さも車椅子の送迎車を意識して1階は2280mm、2階は2100mmに設定しました。また、すべて一方通行で交差・対面通行がないので安全に走行できます。さらに入口に近い階段は病院内の階段と同じサイズにしました。横幅も病院に合わせ、階段1段の高さを低くすることで、病院スタッフの方から「とても歩きやすい」という評価をいただきました。すべての来院者にとって、安心して病院にアクセスできる駐車場になったと思っています。

## 当社建設担当からの視点

パーキングシステム事業部  
プロジェクト推進統括部  
建設部 建設グループ  
担当課長 高藤 正幸

### 喜ばれる利用者様の姿が 私のやりがいにつながっています

今回の案件は当社が病院様から直接工事を請け負いました。工事に際して何より心がけたのは安全です。特に一期工事では西半分の平置き駐車場をご利用いただきながら、病院に近い東半分で建設工事を行いました。もちろん利用者の方の安全な導線は確保していますが、方が一の事故が起きないように細心の注意を払いながら工事に取り組みました。また、昨年8月には大型台風の直撃を受け、基礎工事で掘った穴が水没してしまうなどの突発事態も発生しました。排水や修復に2週間ほどかかりましたが、全体の工期に影響が出ないようその後の進捗を早めました。私は30年以上にわたって日本中で自走式駐車場の建設に携わってきました。完成時に喜ばれる利用者の方の姿を見ることが、私のモチベーションとなっています。

今回の駐車場も皆さんが本当に喜ばれており、私にとっても大きな達成感を感じることのできる案件になりました。



※所属部門はインタビュー当時のものです。